

急 信 次 人

機密 文第 166

機密 第三

旅順要塞地帯に埋没した露王
官金取調に關する件

所略人アウレン (アトイシ民族にテ帝驛) ナル者本日
突然ハ官ヲ訪問シ来リ内密ニ面會シテ
遂ク度方申メ夫に付直ニ引見ノ上其
来意相尋ネ夫ハ露王今人ハ元ト東清鐵
道ノ下級吏員ニシテ金圓リガ市ヲ能
當地へ来リタルハ露國軍艦バレスネート
號搭載官金約七十萬留(金貨)ノ
旅順要塞地帯に埋没シタルハ露王
ノ義に付日本ノ官吏タルハ官に對シ

在浦潮港日本貿易事務館

相談ヲ遂ヘキ目的ナルヲ告ゲ且ツ
右金貨埋藏ノ事蹟に關シ巨細ニ
陳述スル所有ニ及之ハ概シテ人々ハ當
ラ像ヲ露トシテ日本ニ在リシガ出身
レスル一ト早業組水兵某ノ親戚ニシテ
平和克復後本國に放還セラルル今水兵
ヲ直接聴取リタルトコヨナリト云フヲ聞クニ
(二)曰水兵カベリスラ一ト号沈没後ニ三日ヲ
經テ全艦乗組士及某、指揮ノ下ニ堅
ク外スヘカラストノ宣旨云ノ下ニ他ノ水
兵三名ト共に右金貨ヲ要塞内ノ某地
某に埋藏シタルヲ(三)該士官ハ陸上防禦
戰ニ參加シ居リタル者ニシテ其後戰死シタリ

又他ノ水兵三名モ亦タ行衛不明トナリ本人ノ
ミ捕虜トナリ日本ニ赴キシ(三)在在モ
埋藏ハ長友ノ命令、基ヲモナシ、將々
士官一個ノ取計、係ンモノ、歟、内、部、ノ
事情、固ヨリ知ル限、在リ、然レモ其埋
没ノ地点、明、暗、レ、居、ル、趣、有、之、ミ、
而シテ、密告者、アラ、ジ、シ、ハ、全水兵ヨリ、詳
細ナル地圖及説明、ケ、テ、ヘ、ラ、レ、誤、全、カ、其、後、
日本、官、憲、ノ、發見、ス、ル、所、ト、ナ、ル、上、ハ、之、カ、
埋没ノ地、兵、ヲ、密告シ、相當ノ報酬、預リ、
度、希望、シ、テ、今、日、態、當、地、出、張、シ、タ、
ル、モノ、ナ、ル、緣、陳、敘、其、説、リ、ト、モ、如、何、モ、
唐突、ヲ、極、ノ、必、シ、モ、信、ヲ、置、ク、ミ、足、ラ、ス、ト、ス、ル、モ、

在浦潮港日本貿易事務館

今人ノ態度、最モ真執、シ、テ、自、ラ、欺、カ、
ガ、ラ、示、シ、且、問、謀、其、他、從、事、ス、ル、者、ト、
モ、自然、其、類、ヲ、異、ニ、シ、確、カ、ニ、自、家、ノ、信、ス、ル、
所、ヲ、求、メ、ル、者、ト、看、取、被、殺、ス、思、フ、ニ、旅、
順、隔、隔、ノ、當、時、城、日、非、常、ノ、混、雜、ヲ、極、
メ、タ、レ、隨、分、世、間、知、ル、サ、ル、意、外、ノ、事、實、
モ、可、有、之、アラ、ジ、ン、申、立、ノ、義、モ、唐、突、ナ、リ、
ト、テ、一、概、ニ、之、ヲ、却、リ、ヘ、キ、非、ス、ト、存、ス、依、テ、
免、ニ、角、陸、軍、大、臣、ヘ、密、報、牒、ノ、上、其、希、望、
ニ、任、セ、豫、ノ、相、當、ノ、条、件、ヲ、定、メ、今、人、ヲ、シ、テ、
安、内、セ、シ、メ、一、應、取、調、ス、テ、我、ニ、於、テ、也、シ、テ、
体、面、ヲ、毀、損、ス、ル、譯、ニ、無、之、而、シ、テ、此、事、
若、シ、愈、事、實、ナ、ル、ト、於、テ、豫、定、ノ、報、酬、

ヲ今人ニ交附シ適當ノ處置ノ下ニ之ヲ我
國庫ニ沒收スルノ際ニ得策ト存スル在
密告者ニ金ヲ之ノ爲メニ送カニ當地ニ
之ヲ越シ事ヲ成行ヲ知ルニ進心能任ス
義ニ付陸軍大臣トテ協議ノ結果ニ至
急暗報電報ヲ以テ所聞示ル今人取
扱上ニ関シ明細ナル所ヲ示ラ煩ハシ度
此段申進ス敬具

明治四十二年一月十九日

左浦朝

貿易事務官川上俊彦



外務大臣子爵林董殿

在浦朝日本貿易事務官

明治 年 月 日									
同 人 董 日 起 草 主 任 常 務									
外務省 第一 第三 第四									
第六 第七 第八 第九 第十 第十一 第十二 第十三 第十四 第十五 第十六 第十七 第十八 第十九 第二十 第二十一 第二十二 第二十三 第二十四 第二十五 第二十六 第二十七 第二十八 第二十九 第三十 第三十一 第三十二 第三十三 第三十四 第三十五 第三十六 第三十七 第三十八 第三十九 第四十 第四十一 第四十二 第四十三 第四十四 第四十五 第四十六 第四十七 第四十八 第四十九 第五十 第五十一 第五十二 第五十三 第五十四 第五十五 第五十六 第五十七 第五十八 第五十九 第六十 第六十一 第六十二 第六十三 第六十四 第六十五 第六十六 第六十七 第六十八 第六十九 第七十 第七十一 第七十二 第七十三 第七十四 第七十五 第七十六 第七十七 第七十八 第七十九 第八十 第八十一 第八十二 第八十三 第八十四 第八十五 第八十六 第八十七 第八十八 第八十九 第九十 第九十一 第九十二 第九十三 第九十四 第九十五 第九十六 第九十七 第九十八 第九十九 第一百									

明治四十年三月四日 接電

電報 政務局

機密第一三三

振興要害地帯、埋設ニ已ル者
左金邊堀ニ関スル件

機密 受第 587 號

振興要害地帯ニ埋設シタル者左金
ノ付在地矣指示ノ後者ノ義ニ関シ一月十
五日機第三号信ヲ以テ中道里ノ交点ニ
中人ヲシテ可成速ニ貴地ニ赴カシム様計
ツ一々留本月初一日付貴電第六号ヲ以テ
来示ノ趣致蒙知ルニ曰人ニ其後如何也
ノ消息合シテ来ルハ其ハ以面電少シ
時機ニ後シム者ノ曰人ニ来ル貴地ニ止ム
ハ其ハ以面電少シ

在浦潮港日本貿易事務館

出資者ノ方ニ事起ル者ノ際今後若シ
以面電有ルハ場合ニ依テ審判部
局留置シテ貴地通ル者ノ後者
依テ来示ノ趣致蒙知ルニ曰人ニ其後如何也
ノ消息合シテ来ルハ其ハ以面電少シ
時機ニ後シム者ノ曰人ニ来ル貴地ニ止ム
ハ其ハ以面電少シ

明治四十年二月廿三日

在浦潮港日本貿易事務館

電報 政務局



外務大臣 高橋 武夫 殿

在浦潮港日本貿易事務館

5-1 2 3 3

0151

大臣 山手

No. 845 (平)

浦潮茂 四十年三月十三日 告三三〇

次官

林外務大臣 駐延事務代理

○政務

通商

人事

會計

取調

第二六號

貴電第六號ニ関シ

當人本日當地出發セシメタリ

松崎理夫、岡田孝

15 24

進取致果

明治二十三年三月十四日

在浦

貿易事務彼事務代理

信子及補

往延信



外務大臣子爵林董殿

在浦潮港日本貿易事務代理

文書課長

明治四十年三月二十一日接受

明治

日付

明治四十年三月廿一日發給



人

止

等

左旅順

機密送第

號

以反

再圖

美多如塔行等事多深長

梯臺

那尾夷民殿

極傾埋没色甚孤方

其元件

外務省

目下津島中ノ大増船増白ヲ内報

力一ノ母ヲ旅順要塞地帯ニ埋没

スルハ敵軍ヲハレスウエ一止弭撥難

友軍ハ亦為難力ニ及シ太埋没地

矣指宜ノ目的ヲ以テ過日來敵ノ露露

人ヲウジシテ戰ハル事通譯水野等以テ

四條中津口及明方等當地出沒並地ニ

右向の旨の人等、地帯の上、怪しき地帯へは
 帯の空地に、臨時に試掘をせしめ、探検
 者の一人、西陽の地帯に、ミシラ事、古くは、
 古見望、一割、之、探検、トシテ、四人、之、
 佐、市、田、人、の、右、候、收、上、並、に、吟、弟、寅、人、の、
 之、番、及、西、陽、地、帯、に、入、り、之、を、お、目、に、
 七十、番、の、隠、匿、の、他、に、数、人、の、隠、匿、事、を、
 之、事、お、し、之、へ、入、る、者、の、探、検、を、
 事、お、し、之、を、探、査、ノ、上、四、口、人、ノ、言、果、シ、テ、事、
 お、通、ナ、リ、之、へ、入、る、者、の、探、検、ノ、割、九、ノ、以、テ、
 探、検、を、お、し、之、を、探、査、ノ、上、四、口、人、ノ、言、果、シ、テ、事、
 也、
 近、年、水、移、移、ノ、割、九、ノ、陸、軍、省、に、
 諸、侯、ノ、中、に、入、る、者、の、探、検、を、

履歷書

原籍 愛知縣知多郡内海町七百六十二番戸

居住 東京市牛込区矢来町三番四段甲第三十號

寺田忠道方

平民

水野島治郎

明治三十七年九月二十日

水野島保長
免り付分

一 明治三十二年三月東京市本郷区郁文館尋常中學校卒業

一 今年九月東京外國語學校露語本科へ入学

一 明治三十六年七月東京外國語學校本科卒業

全校在學中副科として英語經濟國際法全校規定通修卒業

一 明治三十七年九月より今三十七年五月迄第九師團歩兵第三十六聯隊に於て

露語教授に従事（月俸四十九圓）

一 明治三十七年五月陸軍通譯シ命せし第九師團司令部附に従軍ス

（奉仕官待遇月俸五十九圓ヲ給セラル）

一 明治三十八年七月第十四師團へ轉任（月俸六十圓ヲ給セラル）

一 明治四十年一月陸軍通譯シ免セラル

右之通り候也

明治四十年三月

水野島治郎

大臣
次官
政務
通商
人事
會計
取調

44

No. 一三三六
(平)

外務次官

神尾参謀長

要案地帯内ニ官金埋藏密告者ハ路國人
アウシシ 到着後種々探査セシモ一モ得ル所ナシ
本人モ断念シ一應ハルピンニ歸リ度旨申出タリ
此俟放還スベキヤ返

西旅順発 四十年四月十五日 午前十時廿七分
東京着 午前一時二十分



15

5-1 2 3 3

0158

11、官邸に電報を打つ件、

立井順

外元寺様

波友

アウじん其供放逐せし

アウじん

外務省



4



14日

電送第 ハハニ 號子
明治二十年十二月五日 午後六時五分

明治四十年四月廿六日接

王管 政務局

陸軍部 第三一四號

迎輝

明治四十年四月十六日

外務次官珍田拾已殿
陸軍部 陸軍參謀長神尾光臣

露國人 アウジン

機密 受第 1088 號

右者軍艦ハレスウエート官金埋藏地密告
者トシテ當地着後直ニ當部ヨリ副官及
通譯ヲ附シ本人ノ申立ニ從ヒ各處探查
上本人ノ指定セル地區ハ海軍鎮守
府構内ナリシヲ以テ全府ニ交渉海軍ヨ
リモ立會員ヲ出シ該地區掘鑿候處
何等得ル處無之本人モ他ニ手段ナキ
旨明言シ候旨、模倣相見ハ候本
人歟出、通リ給爾處迄、旅費ヲ給シ
其先放還候条狀殿御承知相成度
追テ水野通譯ハ四月十七日當地出發
歸京セシノ候条狀殿申候